

AQUA 2.0 to 3.0 - Apps Upgrade Training

1- Image-based testを実施する際のiViewGTのDatabaseの変更

• AQUA 3.0では、Image-based testを実施する際、 iViewGTのDatabaseを変更する必要があります。

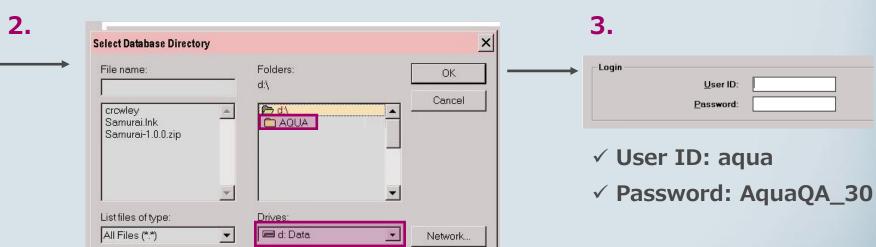


Elekta

- 1. ログイン画面で"Other"を選択します。
- 2. "Browse…"を選択し、D:\AQUAにあるQA用に作成されたデータベースを 選択します。

注:施設によりデータベースが異なる場合がございます。

3. User IDとPasswordを入力し、OKを押してログインします。



Output Uniformity and MLC test

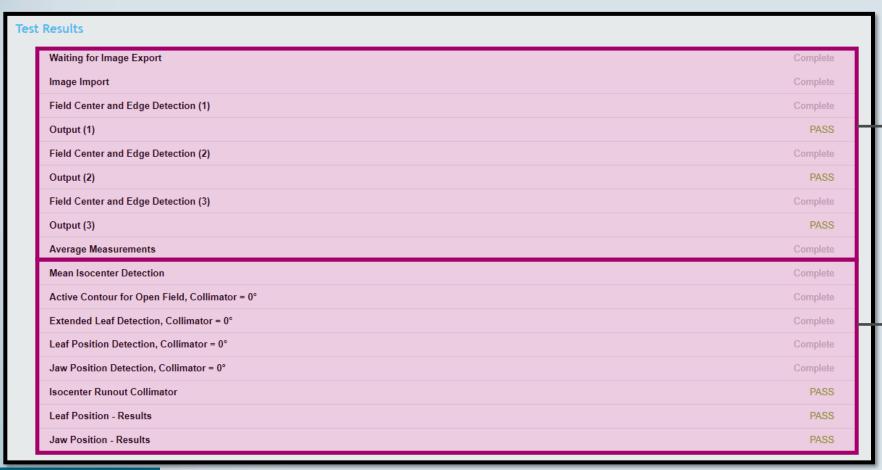
Туре	TG-142	AQUA 2.0	AQUA 3.0	Note
Dosimetry	Output constancy	電位計の読み値の入力を行います。 e.g. "Output Constancy Automatic"	Output Uniformity and MLC LinacConnect	完全に自動化されたEPID ベースのテストになります。 ファントムは必要なく、 パネルのシフトも必要あり ません。-中央のリーフの みをテストします。
MLC	MLC Leaf Position Accuracy	Linac接続で自動		
		"MLC Leaf and Jaw Position LinacConnect"		

Notes:

- この新しいテストのMLC部分は、AQUA2.0のMLCテストより単純なバージョンになります。 (中央のリーフのみをカバーします)。
- 以前のOutputテストとMLCテストは、AQUA3.0で個別のテストとして引き続き利用できます。



Output Uniformity and MLC test



Output テスト

個々のフィールドごとに実行されます。 結果の平均が最後に表示されます。

→ MLC テスト

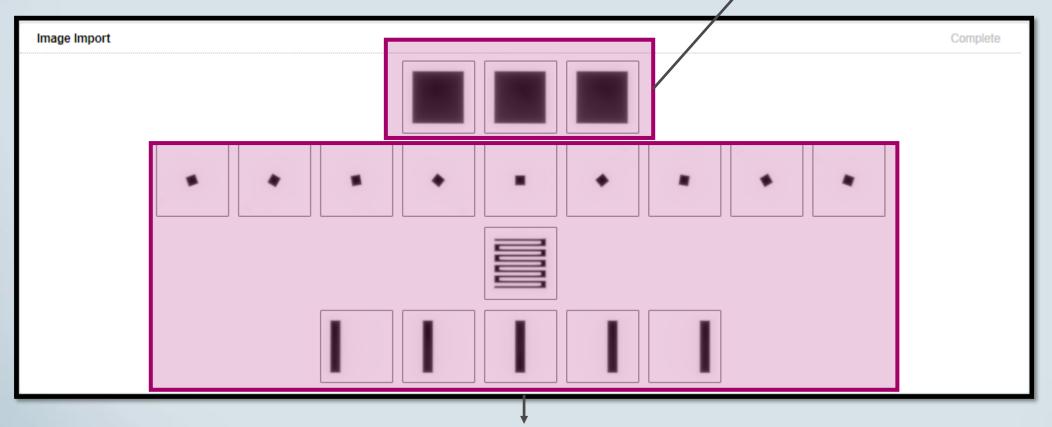
(中央のリーフの場合のみ コリメータ0°しかないことに注 意してください)



Output Uniformity and MLC test

Used for:

- 1. Output テスト (フィールドの中央の2x2部分)
- 2. MLC テスト: Jawの位置とMLCの初期位置



- MLCテストにのみ使用されます。
- 毎月のテストとは異なり、このテストでは中央のリーフのみをチェックします(20x20フィールド内)。
- ピケットフェンスフィールドのサイズは4x20cmです。

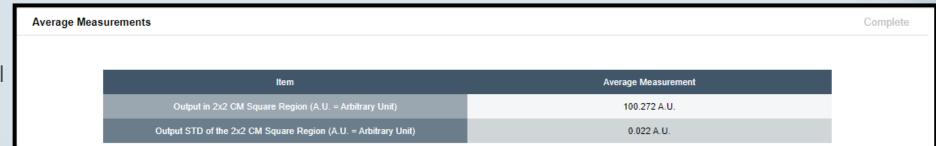


Output Uniformity and MLC test

右図に示されている結果は、3回のうちの1回の測定結果です。



- "Average Measurements" は3回の結果の平均と標準偏 差を示します。
- 個々の測定値のみ、Pass/Fail がチェックされます。





3- kV and CBCT to MV Isocheck (manual)



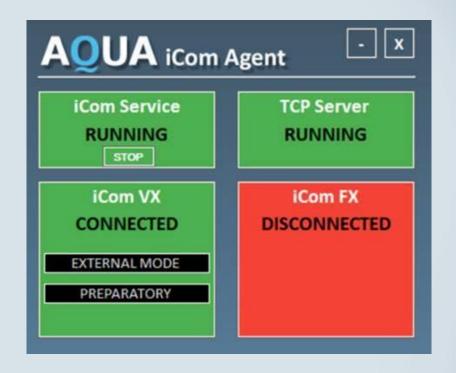
- 1. ペンタガイドファントムをオフ セット位置に合わせます。
- 2. CBCTを取得し、リファレンス画 像と比較します。
- 3. シフト量を記録します。
- 4. カウチ補正を適用します。
- 直交する2D / 2D MV画像を取得 し、リファレンスDRRと比較しま す。
- 6. シフト量を記録します。
- 直交する2D / 2D kV画像を取得 し、リファレンスDRRと比較しま す。
- 8. シフト量を記録します。



4- iCom Agent Improvement

Overview

- iCom Agentの信号(緑/赤)は、一般的な接続障害を示します。
- 接続をチェックし、接続障害の原因を特定できるよう になりました。

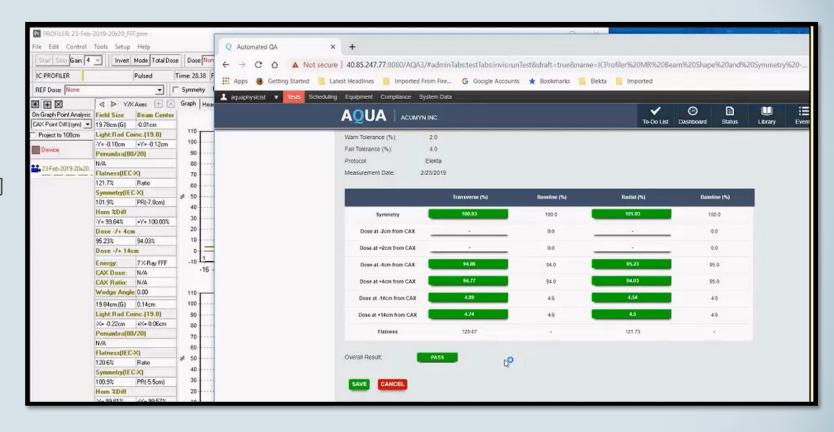




5- Support for FFF in IC Profiler

Output Beam Shape Symmetry test

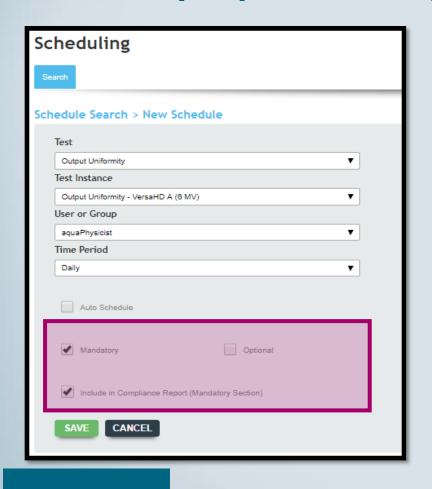
- ICProfilerとの統合により、FFFビーム のビーム形状と対称性を計算できます。
- このテストで使用されている計算プロトコルは、IC Profilerソフトウェアと同じであるため、結果を比較できます。





6- Compliance streamlined

Mandatory/Optional compliance added to the Scheduling page



- AQUA2.0では、テストグループを作成して、テストグループごとにコンプライアンス要素 (Mandatory/Optional)を設定していました。
- AQUA3.0では、個別のテストごとにScheduleタブからコンプライアンス要素を設定できるようになりました。

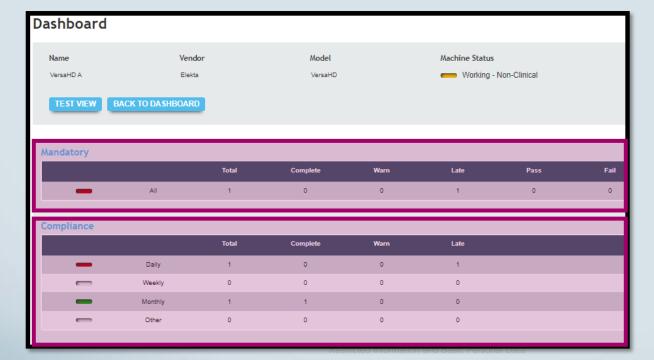
注:これにより、ユーザーは特定のテストをMandatoryまたはOptionalとして定義できます。



7- Dashboard setup

Overview

- ダッシュボードで追跡するテストをコンプライアンスセクションで設定する必要がなくなり、全てのテストが追跡できるようになりました。
- スケジュールにて「Mandatory」にチェックした場合はダッシュボードのMandatoryに表示されます。
 「Optional」にチェックした場合は、現在の期間にテストの実行が記録されている場合、ダッシュボードの
 Complianceに表示されます。
- いずれにもチェックが無い場合は、Complianceに表示されます。





Mandatory テストに関する情報

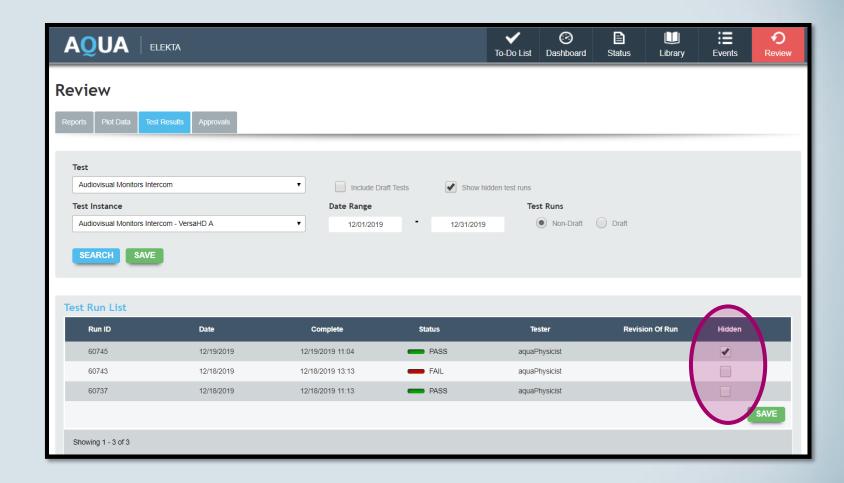


他すべてのスケジュールされたテ ストに関する情報



8- Updated 'Test Results' tab

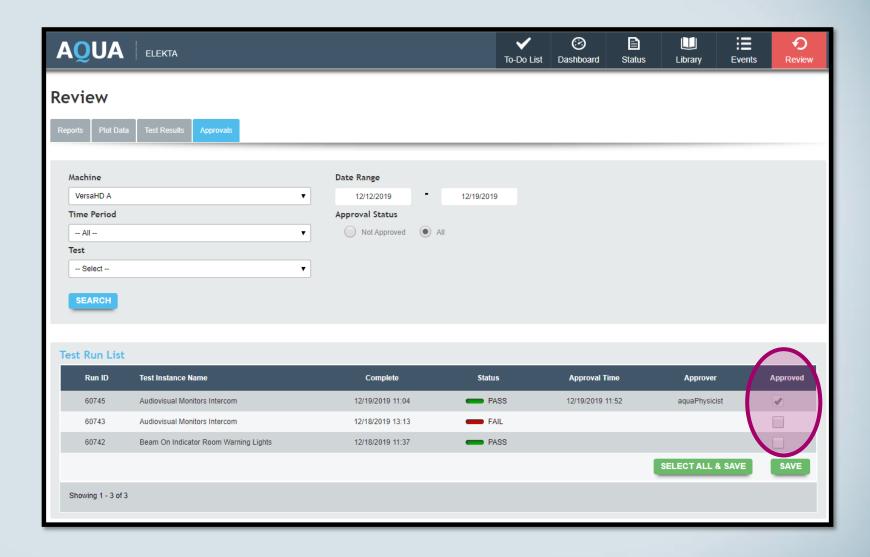
- [Test Results]タブから直接 テストの実行を無効にでき るようになりました。
- [Hidden]チェックボックス をオンにした場合、そのテ ストの結果はレポートに表 示されません。





9- Physics Sign off

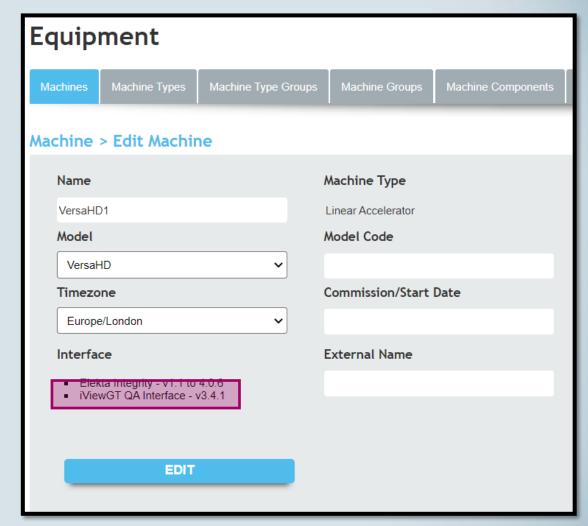
- [Approve]タブからでテストの実行をApproved(承認)できます。
- 承認権限を持つユーザーの みが実行されたテストを承 認できます。
- Unapproved(非承認)する場合は、それぞれを個別にクリックする必要があります。





10- iViewGT Agent

- iViewGTエージェントがAQUAサーバーにインストールされています。
- LinacConnectタイプのテストが実行されている場合、 iViewGTエージェントは取得した画像をiViewGTデータベースから自動的に取り出します。
- 画像を手動でエクスポートする必要はありません。
- この機能を使用するには、AQUAの各治療ユニットマシンに「iViewGT QA Interface 」を追加する必要があります。
- AQUAで分析するために画像を手動でエクスポートする必要がある場合は、画像の送信元のマシンからこのインターフェースを削除する必要があります。
- 削除するには、[編集]に移動してインターフェースを 削除します。





注:いつでも追加し直すことができます。

11- Additional features

- 親子テスト: 子テストに2つの親テストを含めることはできません。
- 新しい子テストの名前は「CHD」で終わり、親テストからそれらを指定します。
- ユーザーは、AQUAに付属のテストを変更して、同じ名前で保存することはできません。
- ユーザーアカウントとユーザーグループは削除できなくなりました(名前とパスワードは引き続き変更できます)。



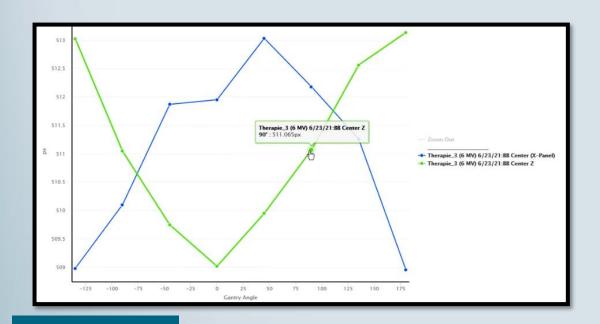
12- Test Status Override Defect

(3.0での既知の不具合報告)

概要

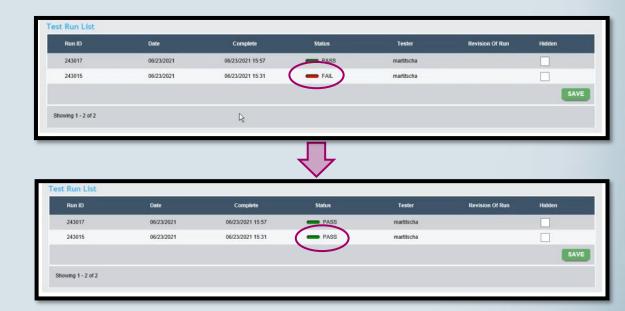
シナリオ:Plot dataにおいて

- i. Failしたテスト結果がプロットされている。
- ii. グラフ内のプロットをクリックする。



影響:

- ➤ この操作により、テスト結果がFailからPass に変更されます。
- ▶ テスト結果を再検索することで、更新された 結果が表示されます。



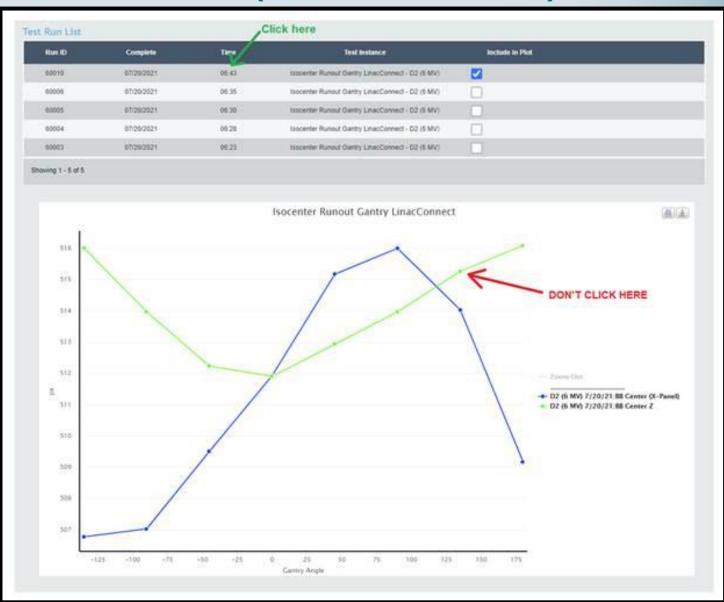


12- Test Status Override Defect

(3.0での既知の不具合報告)

回避策

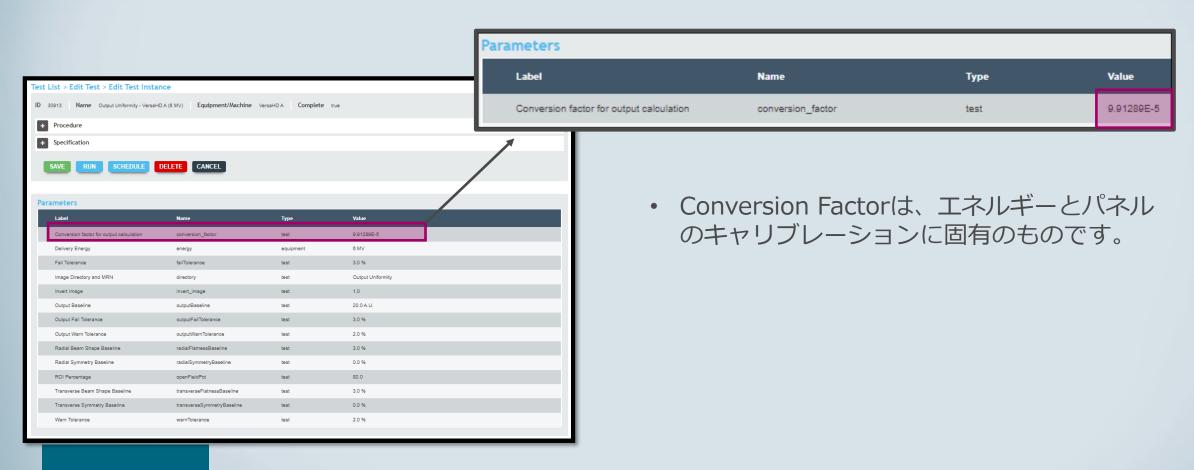
グラフ内のプロットをクリックしてテスト結果を表示せずに、上部の「Test Run List」から表示してください。





Appendix A

Conversion Factor Setup



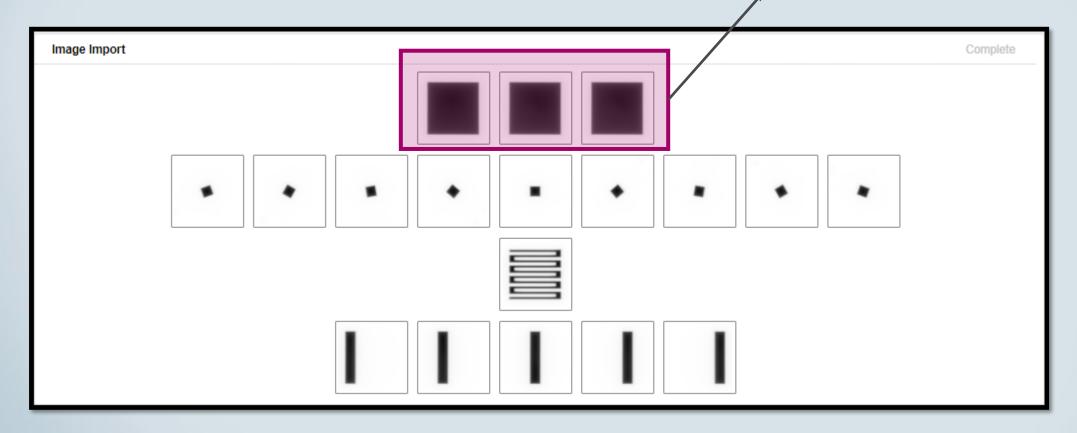


Appendix A

Conversion Factor Setup

Used for:

- 1. Output テスト (フィールドの中央の2x2部分
- 2. MLC テスト: Jawの位置とMLCの初期位置



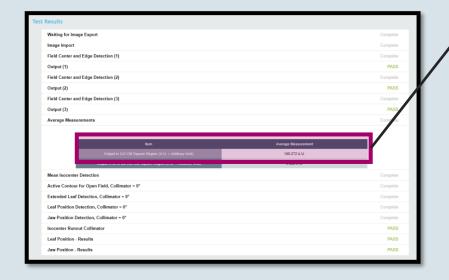


Appendix A

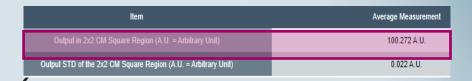
Conversion Factor Setup (quick way)

参照画像の変換係数(CF)を設 定する方法:

- 1. CF = 1に設定
- 2. 参照画像を使用してテスト を実行し、the average output result (Dref) を 記録します。 分析は失敗し ますが、ここでは測定され た出力に注目します。
- 3. その逆数を計算します(1/ Dref) 。
- 4. 結果に100cGyまたは1Gy を掛けます。
- 5. 結果を新しいCFとして設定 します。

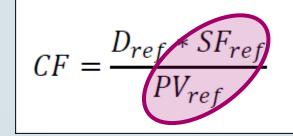


Output value from the average measurements:



$$D = \frac{PV}{SF} * CF$$
In this case (with CF=1):
$$PV/SF = 1021904.33$$

In this case



この例(処方で100MUが提供された 場合)では、

CF = 100 * 9.78E-7 = 9.78E-5

